

# 栃木県内における国内移入種コハクオナジマイマイの記録と分布の現状



南谷幸雄（栃木県立博物館）



## はじめに：

- ・2016年夏に、栃木県内の複数地点から国内移入種コハクオナジマイマイ *Bradybaena pellucida* Kuroda & Habe in Habe, 1953 の分布情報が寄せられた
- ・コハクオナジマイマイは、九州・四国西部・中国地方西部に分布する日本固有種<sup>1)</sup>
- ・1990年代に千葉・神奈川、2000年代に東京・埼玉・茨城で分布を確認<sup>2-4)</sup>、東海地方にも広く分布<sup>5)</sup>
- ・茨城では県内に広く分布、農業被害が懸念<sup>6)</sup>



栃木県内のコハクオナジマイマイの生息状況を明らかにする

## 結果：

- ・県内7ヶ所で59個体を得た  
3ヶ所は標本を提供いただいた  
調査した13ヶ所中4ヶ所で発見、9ヶ所で発見できず
- ・インターネットから、2012年に県内で撮影された写真を発見、詳細な情報をいただく



## 結論：

- ・栃木県の中部以南に、国内移入種コハクオナジマイマイが広く分布する
- ・最初の確実な記録は、2012年
- ・別々に移入された個体群が存在する？

## 考察：

- ・県中部以南に広く分布  
※ただし、確認できた地点周辺の好適な環境で探しても見つけれない場合が多い → 点状に散在するのみ
- ・最古の確実な記録は、2012年9月20日に撮影されたもの  
※体色が特徴的なため、分布情報は上がりやすいはず → ごく最近に栃木県に侵入した
- ・県内に複数回（経路）侵入、起源は異なる？  
※コハクオナジマイマイには有帯型と無帯型があり、有帯は無帯に対して優性（メンデル遺伝）<sup>7)</sup> → 有帯型がまったく得られていない個体群  
※面的な分布拡大ではなく、点状に散在している
- ・農業被害への懸念  
※他県では農業被害が報告されている<sup>6)</sup> → 今後の動向の注視が必要

## コハクオナジマイマイ



## 方法：

- ・調査期間：2016年8月4日、15日、9月11日
- ・分布情報を頂いた地点とその周辺の好適な環境で採集
- ・各地点10分間で可能な限り採集

## 謝辞

県内のコハクオナジマイマイの標本・情報をお寄せいただいた高橋伸拓氏、小倉洋二氏、横溝裕氏に深く感謝申し上げます。また、茨城県内の情報をお教え下さったミュージアムパーク茨城県自然博物館の池澤広美氏に厚く御礼申し上げます。

## 引用文献

- 1) Asami T, Yamashita H, Park J, Ishikawa H, 1997. Geographical distribution of the land snail *Bradybaena pellucida* (Pulmonata: Bradybaenidae). *The Yuriyagai* 5: 31-42.
- 2) 岡本正豊, 1992. 房州のコハクオナジマイマイ. *ちりぼたん* 23: 13-18.
- 3) 福田良昭, 2007. 神奈川県内におけるコハクオナジマイマイの拡散. *みなまき* 44: 32-33.
- 4) 日本自然保護協会, 2005. 自然しらべ 2004 カタツムリをさがそう. *自然保護* (484) ふろく
- 5) 西浩孝, 川瀬基弘, 2011. 静岡県および岐阜県から発見されたコハクオナジマイマイ. *かきつばた* 36: 41-42.
- 6) 池澤広美, 2012. 茨城県におけるコハクオナジマイマイの分布拡大と農作物被害. *A Museum 自然博物館ニュース* 73: 5.
- 7) Asami T, Fukuda H, Tomiyama K, 1993. The inheritance of shell banding in the land snail *Bradybaena pellucida*. *Venus* 52: 155-159.